

厚岸町海事記念館



通信

2009.1.

No.10

星空を満喫!! 「秋のほしぞら教室」

「星空って、こんなにきれいなんだあ!!」と改めて感じました。海事記念館では、毎年、天体への興味をもってもらい、楽しく学ぶ場を提供しようと、ほしぞら教室を開催しています。今回の「秋のほしぞら教室」には、釧路市こども遊学館の移動天文車カシオペア号が登場！遊学館職員による天体の解説を聞きながら、天体望遠鏡で秋の星空をゆっくりと楽しみました。今後も引き続き実施する予定ですので、ぜひ、ご参加下さい。

さて、開催日となった10月21日(火)の午後7時の夜空は、雲一つなく、ガスもかかっていない、天体観察には絶好の夜空。時折、流れ星も現れ、会場となった厚岸町立太田小学校のグラウンドに集まった参加者は、ロマンチックな星の世界を楽しむことができました。

移動天文車カシオペア号に乗って
夜空を観察どんな星がみえたかな？

釧路市こども遊学館職員による星座の解説



〈お知らせ〉 プラネタリウム「冬の星座めぐり」を投影中!!

海事記念館プラネタリウム室では現在「冬の星座めぐり」を投影中です。オリオン座やふたご座、おおいぬ座、こいぬ座といった冬の代表的な星座についての解説や星座にまつわる神話のアニメーション「おうし座物語」などを上映しています。ぜひ、この機会に冬の星座の世界を楽しんでみてはいかがでしょうか。

投影時間：平日 15:30～

土・日・祝日 11:00～、13:30～、15:30～

観覧料：海事記念館入館料のみ(大人210円、高校生以下無料)

文化財係 正行寺本堂保存修理事業パネル展を開催しました

厚岸町には、国指定重要文化財「正行寺本堂」があります。この本堂は、明治42年に現在の新潟県糸魚川市にあった満長寺を購入、解体し、船で厚岸に運んだもので、明治43年に現在地に建てられました（翌年移築の落慶法要をとりおこなう）。しかし、移築から長い年月が過ぎ、度重なる地震などにより、本堂壁面の亀裂や屋根からの雨漏りなどが生じました。そこで、平成18年から20年まで保存修理工事が行われました。その工事も昨年10月をもって無事終了し、今回これを記念して写真パネル展と記念講演会、現地説明会を開催しました。

パネル展は、厚岸町民文化祭作品展会場において11月1日（土）から3日（月）まで、また海事記念館では11月7日（金）から16日（日）まで開催しました。保存修理工事を指導した（財）文化財建造物保存技術協会東京支部の協力のもと、本堂の修復過程を写真パネルで紹介し、海事記念館においては本堂屋根の棟木に取り付けられる鬼板（試作品）も展示しました。

関連事業としては、11月8日（土）に本の森厚岸情報館において、正行寺前住職朝日正芳氏には「正行寺本堂の改築について」と題し、また、（財）文化財建造物保存技術協会東京支部比嘉健氏には「正行寺本堂保存修理工事について」と題し、講演会を開催しました。また、その後、



パネル展（厚岸町民文化祭作品展会場）



朝日 正芳 氏

比嘉 健 氏



会場を正行寺本堂に移し、現地説明会を開催し、本堂において、比嘉氏から修復箇所の説明や朝日住職の特別な計らいで普段立ち入ることができない本堂背面部などを見学しました。当日は、町内をはじめ、釧路市や根室市、中標津町などから100人近い参加者があり、関心の高さを感じました。

正行寺本堂現地説明会

満天の星空のもと、N響プラネタリウム・コンサート開催!!

11月28日(金)、毎年恒例のN響プラネタリウム・コンサート(N響プラネタリウム・コンサート実行委員会主催)が海事記念館プラネタリウム室で開催されました。

コンサートには、NHK交響楽団のメンバーである板橋健氏(第一ヴァイオリン)、青木調氏(第二ヴァイオリン)、梯孝則氏(ヴィオラ)、村井将氏(チェロ)をお招きし、ハイドンの弦楽四重奏 作品51「十字架上のイエスキリストの最後の七つの言葉」をはじめ、日本の歌やビートルズのナンバーが演奏されました。



NHK交響楽団のみなさん

来場したみなさんには、こころゆくまで演奏を堪能していただけたのではないのでしょうか。

文化財係 アクケシソウの種を採りました



アクケシソウの種を採取

昨年(平成20年)も無事アクケシソウが赤く色づきましたと言いたいところですが、前号でもお話ししましたように、前年同様、町内港町の栽培地の四面の内、一面の栽培がおもわしくありませんでした。海水の撒布が不十分だったことや栄養分の減少など、多くの原因が考えられます。来年は、この反省を踏まえ、引き続きアクケシソウの栽培を頑張っていきたいと思います。

さて、他の三面は、9月末から10月中旬にかけて見事に赤く色づくことができました。10月の下旬には、職業体験授業で町立厚岸中学校と町立真龍中学校の生徒のみなさんが海事記念館を訪れ、その際に港町のアクケシソウの種を採っていただきました。寒風吹きす

さむ中での作業でしたが、種のついたアクケシソウを根元から一本一本丁寧にハサミで刈り取り、海事記念館に戻ってからそれを手で揉み、種を取り出しました。

文化財係 歴史に親しんだ古文書教室

10月25日(土)、釧路短期大学の佐藤宥紹教授をお招きして、「平成20年度古文書教室」を開催しました。今年は「国泰寺の年中行事 - 秋 - 」と題し、昨年に引き続き、国指定重要文化財「蝦夷三官寺国泰寺関係資料」に数えられる「日鑑記」をテキストに、主に江戸時代末期の国泰寺の年中行事や幕府と寺院との関わり、当時のアクケシの歴史的な出来事や役割(外国船の渡来地、資源豊かな地、北海道東部の経営拠点など)についてお話しいただきました。参加者は、国泰寺建立当時の厚岸の歴史に触れることができる貴重な時間を過ごすことができましたのではないのでしょうか。



講義風景

文化財係 島田善造氏コレクションについて

10月15日(水)、札幌市埋蔵文化財センターに行ってきました。目的は、厚岸町で発掘された資料(遺物)を受け取るためです。

この遺物は「島田善造氏コレクション」と呼ばれる資料です。1956年(昭和31)と1957年(昭和32)の2ヶ年にわたって、厚岸町内のオカレンボウシ貝塚及び神岩において、当時、札幌南高等学校郷土研究部顧問だった島田善造教諭によって発掘調査がおこなわれました。その際に出土した遺物資料、全268点のことです。

これら資料が札幌市埋蔵文化財センターに保管されていたわけです。島田氏のご遺族か

らも出土地で保管・活用してもらいたいとの意向もあり、今後、展示などに活用していきたいと考えています。その際には、また「通信」紙上でお知らせしたいと思います。



島田善造氏コレクションの一部
(厚岸町住の江の奥、JR花咲線沿いに位置するオカレンボウシ貝塚より昭和32年8月5日に発掘されたもの)

【海事】冬の工作教室「よく飛ぶ紙トンボヘリコプターをつくろう!!」

海事記念館では、下記の日程で夏に実施して好評だったモーターを使った「紙トンボヘリコプター」づくりをおこないます。

日 時	平成21年1月9日(金) 午後1時30分から午後3時30分まで
場 所	厚岸町海事記念館
参 加 料	無 料
対 象	小学4年生以上
定 員	10名
申込締切	1月7日(水)まで
申込・問い合わせ	海事記念館管理係

(お願い)

当日、参加する人は、

使い慣れたハサミ

を持ってきてくださいね。

郷土館・太田屯田開拓記念館 休館のお知らせ

現在、郷土館・太田屯田開拓記念館は、冬期間(11月16日から4月15日まで)休館となっています。休館中のお問い合わせなどは、海事記念館までお願いいたします。

編集後記

みなさんは“雨男”を信じますか。『広辞苑』によれば、雨男とは「その人が何かをする日には必ず雨が降るといわれる男性」だそうです。実は、周りの人からはどうも私その雨男なのではないかと言われています。実際、私が関係する催し物は確かに雨が多いです。ですから、大事な行事がある度に周りから「なるべくおとなしくしてくれ」と言われます。何を言いたいかという、そんな私が「秋のほしぞら教室」の会場に行ったのに、素晴らしい星空を見ることができたということです。でも、残念ながら、いまだに雨男というレッテルを返上することができずにいます…。(車塚)

「厚岸町海事記念館通信」第10号 2009.1.発行
【編集・発行】
厚岸町海事記念館
〒088-1151 北海道厚岸郡厚岸町真栄3丁目4番地
Tel/Fax (0153)52-4040